



日本共産党文京区議会議員  
まんだち幹夫通信  
2010年 新春号

# "みなさんをいつもまんやかに"

■区議団控室：5803-1317 (直通)  
■萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
Tel・Fax 3868-8355  
メール：mandachi@jcp-bunkyojudan.gr.jp

## 政治を前にうごかす 2010年へ

# 日本政治の大きな変化の始まり

2010年が明けました。みなさんの  
要望がかなえられる年にしてゆくために、  
今年も全力をあげます。  
昨年、立て続けに行われた都議選、  
総選挙の結果を受けて、日本政治の大  
きな変化が始まった年でした。  
この変化をつくりだした力は、暮ら  
しと平和を壊してきた今までの政治と、  
国民の利益との間の埋めることのできな  
い矛盾です。そして、「構造改革」の名  
でおしつけられた諸政策によって、社  
会的貧困と格差がきわめて深刻とな  
り、その打開をもとめる国民的な立  
ち上がりが社会のあらゆる分野で  
広がっており、政治をうごか  
しました。



### 国民が声をあげれば、 政治はかならず変わります

## 国民の暮らし、営業、雇用を守り 安心して子育てできる町に

来年度予算の「重点施策」が昨年末に発表されました。子育て分野では、「区立保育園の定員拡大」や「グループ保育の定員拡大と年齢引き上げ」など拡充され、要望していた認可保育園の増設も予定されますが、産休明け、0歳児の受け入れは「認証保育所」頼みです。ひきつづき区立・法人立園

の新增設を要望します。  
「区内の住宅は充足しているからストック活用で」という基本的立場は変わらないのですが、「高齢者賃貸住宅登録事業」が打ち出されました。「高齢者の入居を拒まない賃貸住宅を登録、あっせん」して、家主には謝礼を、入居者には10年間の家賃助成をする計画です。実施戸数を増やしぜひ、多くの実績が上がるようにしたいものです。  
さらに雇用確保のための「統合相談窓口」設置や480億円をこえる区の基金の有効活用を求めていきます。



昨年9月本会議一般質問

ついに 来年度から小1、中1で

## 「少人数学級」が可能に!

昨年12月の都議会で「教員を加配して学級規模の縮小も可能とする対応策について早急に検討」と教育長。

都民の運動と日本共産党の論戦が東京都を動かししました



この新しい状況のもとで、様々な運動と力関係いかなんでは、国民の願いが実現する条件が生まれています。  
「国民が声をあげれば政治は変わる」と新しい局面といえます。  
この日本の政治を決して後ろへ戻させるようなことはさせず、一歩一歩前向きにすすめていくため、力を合わせましょう。

(上写真) 左から小竹ひろ子  
前都議、小池あきら参議院議員、  
まんだち幹夫国会前

## 中越地震の震源地・川口町を視察 住民の「きずな」があればこそ

5年前の震災から人口も減り、高齢化率も29%になったそうです。また国や県からの支援策のうち、利子補給も固定資産税の減免も期限となった今、これから被災者も大変になるようです。一番の印象は、「『きずな』が強い町だからこそ助け合って乗り切れたし、震災を機により強まっている」「地域に住む人の家族も体調も分かっているから『要援護名簿』は不要です」ときっぱり答える町の姿勢は、都市型震災に備える私たちにとって、大きな課題を提供してくれました。



「元気出せ 力合わせて復興だ」の横幕がかかった川口町役場

地域からの要望が多く、歩行者との事故防止に有効な「自転車専用レーン」がいよいよ具体化します。地域は、東大追分から千石まで(白山上交差点を除く)の旧中山道で、車道の歩道寄り1.5mを専用レーンにします。国は自転車と歩行者の事故の解決にとって大切な専用レーンを、モデル的に各地域につくっています。私たち区議団も昨年、中野区の山手通りに設置された



(この部分にレーンが)



山手通りの自転車専用レーン



「シビックに近いからと、いつも要望は後回し。早く建て替えてほしい」：昨年11月に開かれた地域活動センター・交流館利用者への説明会ではこのような意見が続出しました。  
昨年の第四回定例区議会「地域活動センターのあり方について(中間まとめ)」が報告されました。区民の反対の声を抑えつけて7年前に9か所の寿会館を全廃し、「区民サービスコーナー」を図書館に移動させ、今度は図書館指定管理者制度導入(丸ごと委託)に伴い、その業務ができないとまた戻す——ほんとうに二転三転です。そのうえ礪川は「狭い」ことを理由にサービスコーナーは当面は戻りません。肝心の建て替えも3〜5年先?—これでは住

## 礪川地域活動センター建て替えを、早く! 高齢者 区民が気軽に利用できる施設に

民の怒りも当然です。



老朽化がすすむ礪川地域活動センター：右隣が取得地

地域活動センターの隣地はすでに十数年前に取得しています。この地を活用して、住民票など手続きはもちろん、バリアフリーの施設にして会議室、高齢者の憩えるスペース、また寿会館にあったようなお風呂の復活など、どんどん要望を区にあげていきましょう。

## 旧中山道に「自転車専用レーン」が 多発する歩行者と自転車事故 防止に国がうごき始めました

追分大 千石

◆10月24日 総務区民委員会。初めての委員会(これまでは文教委でした)だけに気が張ります。過去の委員会議事録に目を通しながら質問を練ります。安価にできる「地デジ」対応策、説明のあり方など質問しました。  
◆11月15日 地域後援会のみなさんと川崎市立の「日本民家園」へ行きました。江戸、明治期の民家を見て、当時の生活が偲ばれ、また耐震性を考えた造りに驚きました。ぜひ一度!(下写真)



◆11月25日 区議会「清掃・リサイクル特別委員会」で質疑。プラスチック系を燃やすことのために激減した不燃ごみが、来年度から月2回の回収となります。しかし、プラスチックは焼却でなく、リサイクルすべきです。  
専用レーン(写真下)を視察しましたが、沿道の住民、商店や道幅などにより設置は簡単ではないのかなと思っていました。うれしい限りです。この旧中山道への設置が契機となり、白山通り、春日通りなどでも、ぜひ実現させたいものです。

## まんだち日記